

# H27 アクションプランシート 事業 No.11

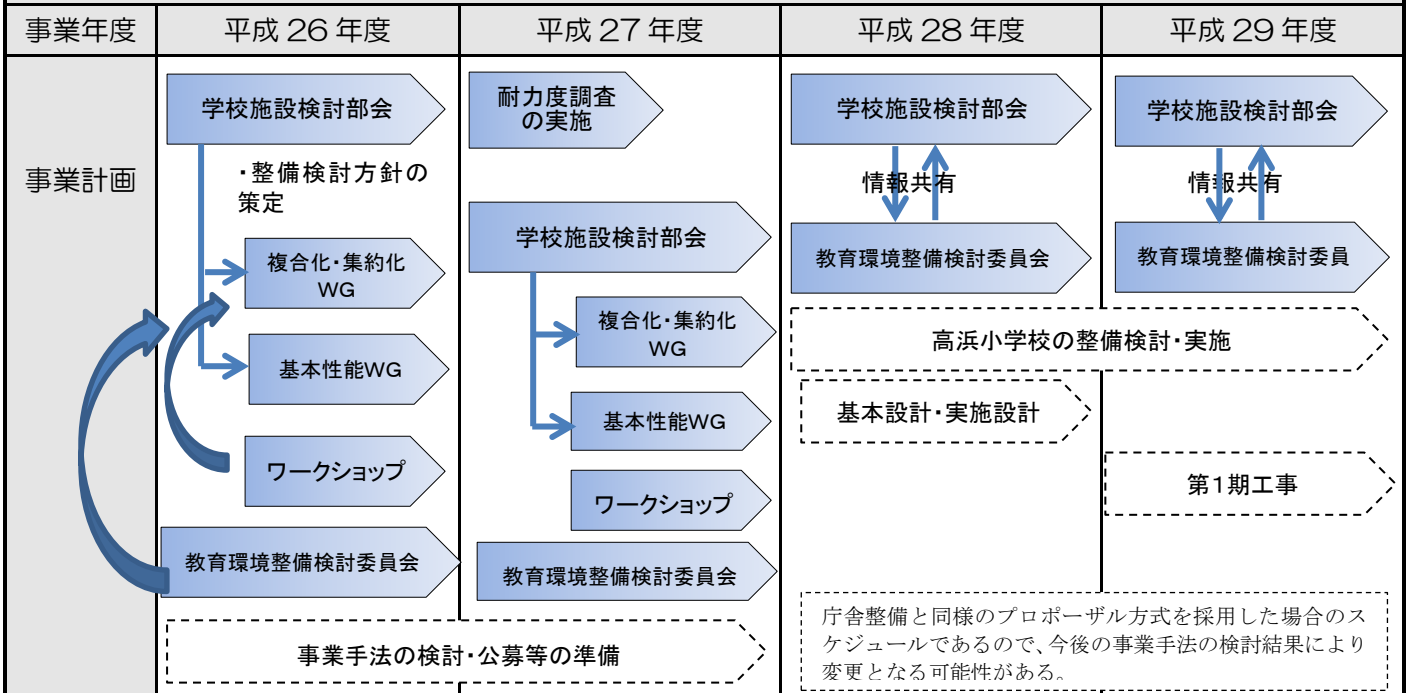
## ①事業の基礎情報

事業名		高浜小学校整備事業			担当部・グループ名	教育委員会 学校経営グループ 総務部 行政グループ					
実施期間		平成 26 年度～平成 29 年度			担当 GL 氏名	内藤 克己 山本 時雄					
新規・継続の別		継続事業			電話番号(内線)	52-1111(内線 350, 320)					
総合計画(基本計画)体系	個別目標	(2) 将来を見据えた計画的・効果的な財政運営を行います			予算・事業上の 予 算 書 上 の 事 業 名	款	2款 総務費				
	こんなことに取り組みます	将来の公共施設のあり方について、市民とともに問題意識を共有しながら、具体的な検討を進めます。				項	1項 総務管理費				
	みんなで目指すまちづくり	—				目	12目 企画費				
	指標名	現状値 (H25)	—	実績値 (H26)		実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	—	(単位)	

## ②事業の概要

これまでの取組み	何を・どうした(内容) ※箇条書きで簡潔に記載してください。	いつ
	◆教育環境整備検討委員会を開催した。	H26.4～
	◆高浜小学校の現地確認を行い、問題点等の調査・整理を行った。	H26.4～9
	◆定例校長会や定例教育委員会等での説明・意見聴取を行った。	H26.7～8
	◆学校施設検討部会において、学校複合化について検討を行った。	H26.10～
これまでの取組みから 見えてきた課題 ・ 事業の必要性と 実施の背景	◇老朽化が進んでいる高浜小学校の建替えに合わせ、「公共施設あり方計画(案)」における総量圧縮の観点から、「地域活動の拠点」となる施設の複合化を図る必要がある。	
	◇民間のノウハウを活用し、安全で安定した学校の管理・運営体制づくりやコストの低減を行うため、「包括的管理委託」の導入を含めた管理手法の検討を行うとともに、学校と複合施設全体を、設計から建設・運営まで一括した発注方式を検討する必要がある。	
目的 (何をどうするために)	★学校が持つ多様な機能に留意し、「地域とともにある学校づくり」の視点を踏まえた整備を進めるため。	
対象 (誰・何を対象に)	児童、教職員、高浜小学校を利用する市民	対象の数量
		1,000 人
最終目標 (どのような状態を目指すのか最終的に何がどうなれば達成か)	☆防災拠点としての機能が確保されるとともに、多様な学習環境や多目的活用などの変化に対応できる学校が整備される。	
	☆高浜小学校区を単位としたまちづくりの拠点施設が形成され、世代間交流、地域の人々が集まれる場となっている。	
備考		

③事業の工程表



いつまでに（期限）	何を・どうする（内容）
H27.6	◆小学校校舎の耐力度調査を実施する。
H27.6	◆高浜小学校整備基本方針を作成する。
H27.10	◆学校関係者を中心としたワークショップを開催する。
H27.10	◆実施方針を検討する。
H28.2	◆募集要項・要求水準書等を作成する。

庁舎整備と同様のプロポーザル方式を採用した場合のスケジュールであるので、今後の事業手法の検討結果により変更となる可能性がある。

④事業にかかる事業費概要

事業年度		平成 26 年度	平成 27 年度（当初）	平成 28 年度（見込）	平成 29 年度（見込）	
事業費総額(千円)		6,480	16,740			
財源内訳	一般財源	6,480	16,740			
	特定財源	国・県支出金	—	—		
		その他	—	—		
補助事業・単独事業の別		単独事業	単独事業			

庁舎整備と同様のプロポーザル方式を採用した場合の事業費概要であるので、今後の事業手法の検討結果により変更となる可能性がある。

⑤事業にかかる事業費積算基礎

平成 27 年度	・高浜小学校整備事業支援業務委託料 16,740 千円
特記事項 (実施期間を通じて)	